

古河歴史見聞録

没後20年 今こそ読みたい 小林久三の社会派推理

平成18年9月、1本の電話にわが耳を疑いました。「小林先生が亡くなった……」。あれからもう20年経ってしまうのか……。

今回は古河出身で推理文壇に一時代を画した作家・小林久三を紹介しします。

映画監督を夢みて

昭和10年、古河に生まれた小林久三は、古河一高から東北大学へ進み、映画監督になることを夢みて、松竹大船撮影所に助監督として入社します。当時の松竹では、監督には脚本力が必須という不文律があり、助監督室ではシナリオ集が発行されていました。



▲昭和49年江戸川乱歩賞授賞式。松本清張(右)から記念品を送られる

められ、数々の脚本を手がけるようになります。その筆力たるや、急遽、依頼を受けた脚本を一晚で仕上げたという伝説も残っているほど。しかしながら、豪筆ともいえる量産ぶりが仇となり、間に合わせの仕事がさせられることが多く、小林の脚本への評価は必ずしも芳しいとはいえませんでした。

映画人から推理作家へ

入社当時、すでに斜陽化しつつあった映画界にあつて、小林もまた、会社の合理化によりプロデューサーへ転属、監督昇格の夢は潰え去りました。しかし、夢破れたことで小林の人生に転機が訪れます。

映画の題材を求めて推理小説を読みあさっていた小林は、やがて『推理界』などの雑誌に推理小説時評を書き始めます。その後、編集者の勧めから自身も小説執筆に手を染め、昭和45年3月、「零号試写室」を『推理界』に発表、作家デビューを果たしたのです。47年には「腐蝕色彩」で小説サン

デー毎日新人賞を受賞。そして49年、足尾鉾毒事件にゆれる谷中村を舞台にした社会性豊かな歴史推理小説『暗黒告知』で第20回江戸川乱歩賞を受賞、推理作家としての地歩を固めました。

社会派ミステリーの鬼才

以降、原稿用紙をフィルムの代わりをして、常に弱者の視点から社会の奥底に潜む権力悪を暴く作品を世に送り出していきます。

『黒衣の映画祭』『零の戒厳令』『空を飛ぶ柩』『灼熱の遮断線』『皇帝のいない八月』『父と子の炎』などの秀作を次々と発表。その質・量ともに圧倒的な活躍ぶり

は、まさに社会派ミステリーの鬼才と呼ぶに相応しいものでした。また、『むくろ草紙』『火の鈴』『帝都発幻影列車』『真夏の妖雪』など、古河を舞台とした作品も多く、そこには、故郷への強い思い入れが感じられます。

今こそ小林作品を

時代の鏡として描かれる社会派



▲小林久三の社会派推理作品群

作品は、とすると、時の経過と共に色あせてしまうと思われがちです。しかし、本当に良い作品は、時を超えて愛されるもの。

特異な発想力と重厚な文章展開、そして映画界出身らしい繊細な描写力を駆使して描かれた小林作品は、今なお色あせません。社会が複雑・多様化した今だからこそ、あらためて、手にとっていただきたいと思います。

現在開催中の文学館スポット展示「今こそ読みたい小林久三の社会派推理」もあわせてご高覧いただければ幸いです。

二十年を隔てて届く秋の風

古河文学館学芸員 秋澤正之

【児童書/読み物】

背中合わせの恐怖

室井滋 著

室井滋本人や周囲の人たちが体験した怖い出来事や不思議な現象など、日常の中の非日常をつづった短編集。「隣の部屋は…」「ホテル『カナシバリ』」「心霊写真の巻」など9編とエッセー「不思議小咄」10編を収録。

出版社…金の星社

【絵本】

くつしたど〜こだ？

オガワナホ 作

しましまくつした、みずたまくつした、りぼんのくつした、なが〜いくつした。あれ、みんな、かたっぽがないね。どこにいったのか。お部屋や外をさがしてみよう！

出版社…偕成社

【一般書/古美術】

物語る日本刀

杉本竜 著

桑名市博物館学芸員が、村正、蜻蛉切、桑名江など、桑名ゆかりの刀剣の背後に見え隠れする人々の物語を典拠に基づき描き出す。16世紀以降の日本刀の歴史と魅力を分かりやすく伝える一冊。

出版社…創元社

【一般書/小説】

幽霊写真展

赤川次郎 著

宇野警部と夕子が訪れた写真展。写ってはいけない「ある人物」の存在が、先輩刑事を巻き込む不運な殺人の始まりだった…。表題作をはじめ「母を訪ねて30メートル」など全7編を収録。『オール読物』掲載を書籍化。

出版社…文芸春秋

図書館の本棚から



三和図書館

※三和図書館は現在休館中ですが、今回掲載した図書は、予約いただいた場合に限り三和図書館以外の図書館・図書室で貸し出し可能です。



女沼タイガース (軟式野球)



チームデータ

▼活動日

第2・4水曜日：18時30分～20時、土・日曜日：8時30分～(試合や練習)

▼活動場所

下辺見小学校・近隣グラウンド

▼問

蓮田(監督) TEL080-5417-5156

海老沢(事務局)

TEL090-5789-6717

